

せたがや 町総連だより

第28号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林4-31-9
ポライト第2ビル2F
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 倉本俊幸
編集 情報誌編集委員会
編集委員長 鈴木誠

あけましておめでとう
あけましておめでとう
あけましておめでとう



新年あけましておめでとうございます。皆さま、新しい年を迎え喜んでお喜び申し上げます。

皆様には、新しい年を迎え喜んでお喜び申し上げます。平素より町会総連合会の運営に對しまして、ご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

町会総連合会は現在、196の町会・自治会が加入してあり、防災・防犯活動をはじめ環境美化、交通安全、青少年の健全育成、資源分別回収などの活動を通じて地域のまちづくりに努



新年あけましておめでとうございます。皆さま、新しい年を迎え喜んでお喜び申し上げます。

町会・自治会の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素の区政各般にわたる多大なご協力で厚くお礼申し上げます。活力ある地域社会と

世田谷区町会総連合会 会長 倉本俊幸

めております。昨年11月13日には前年に引き続き、世田谷区と共催による「町会・自治会交流会」を北沢タウンホールで開催いたしました。活発なご意見を賜り今後の町会・自治会の発展に向け大変有意義な時間が取れましたことを感謝しております。また、区との共同事業として皆様方にご協力いただきました。また、「町会・自治会の底力」アピール大作戦として夏場に実施いたしました「環境への取り組み」につきましては、*大きな成果を上げることができました。

た。改めて町会・自治会の大きな団結力を感じた次第でございます。地球温暖化対策につきましても、一人ひとりの協力が必要で。そして、未来を担う子どもたちのためにも環境問題は優先して取り組んでいくべき課題であり、今後、町会・自治会活性化推進のためにも、積極的に活動していきたくと考えております。結びに、町会・自治会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心よりお祈りいたしました。新年の挨拶とさせていただきます。

※次ページに結果掲載

世田谷区長 熊本哲之

コミュニティの形成こそが、区政の基盤となるものと考えており、地域の絆再生支援事業に着手したところで。今後、広くご意見、ご提案をいただくため、本年2月よりタウンミーティングを開催し、地域の絆再生に向けた方針・方策を取りまとめまいります。また、引き続き安全、安心のまちづくりを基本に、

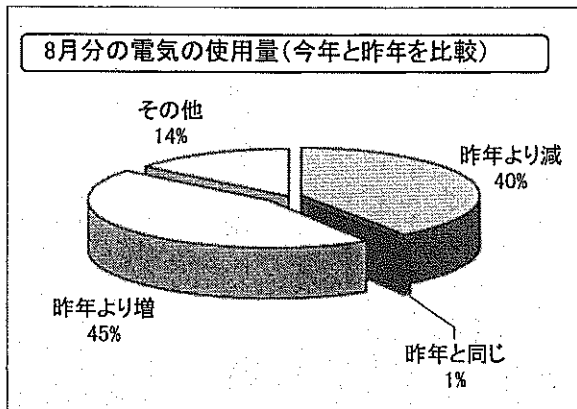
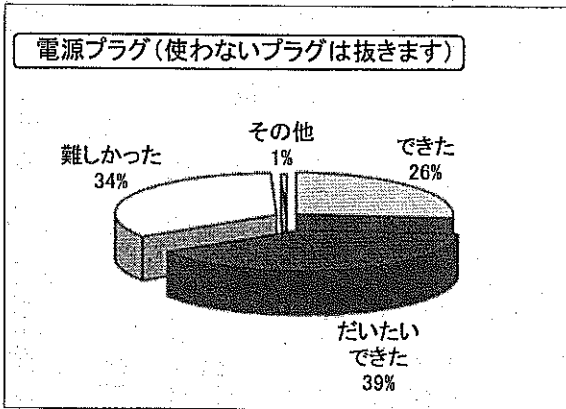
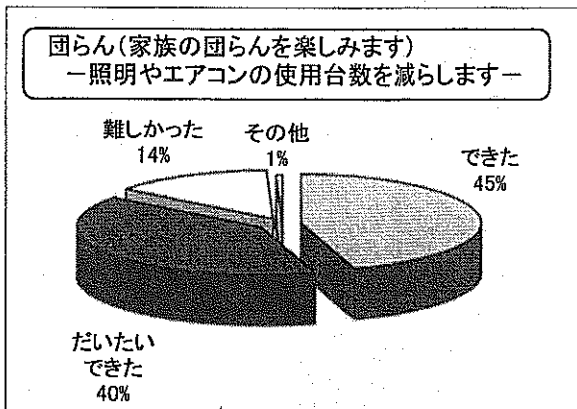
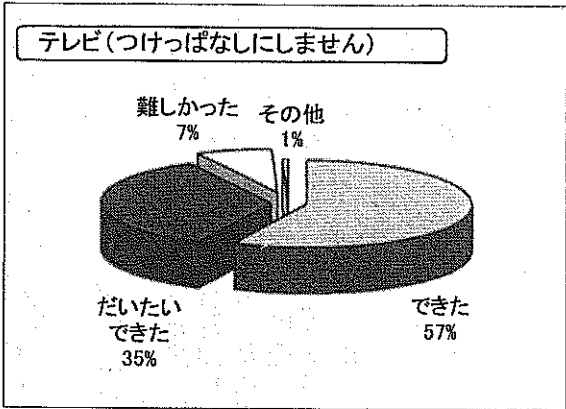
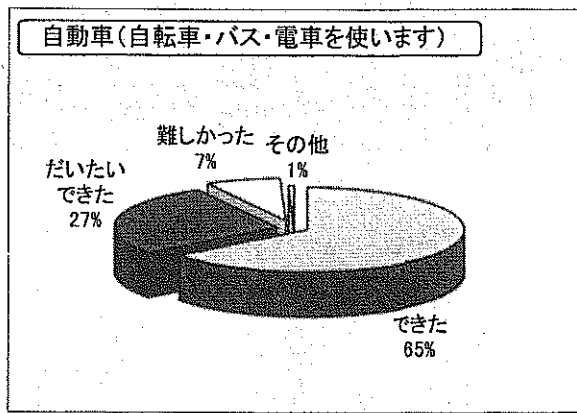
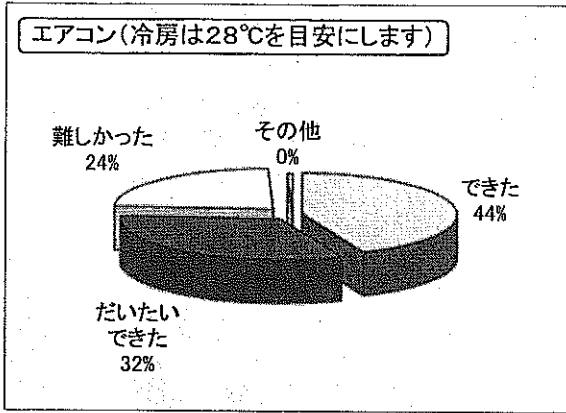
区民の目線に立ち、予防型行政を推進する観点から区政に取り組んでまいりますので、今後とも皆様には、ご支援ご協力をよろしくお願いたします。結びに、世田谷区町会総連合会の益々の発展と、皆様のご健勝をお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

目次

新年のご挨拶	1	世田谷地域 若林町会の活動報告	6
町会・自治会活性化キャンペーン第2弾	2	北沢地域 安全・安心のまちづくりを目指して	7
地域情報		玉川地域 地域力を向上し快適な町づくり	9
砧地域 砧地区町会・自治会活動の昨今	3	行政情報 新型インフルエンザ ~ご存じですか?~	10
地道な支えあい	4	町総連ニュース	10
烏山地域 地域住民と歩む町会	5	編集後記	10

温室効果ガス(CO₂)削減に向けた取り組みの成果

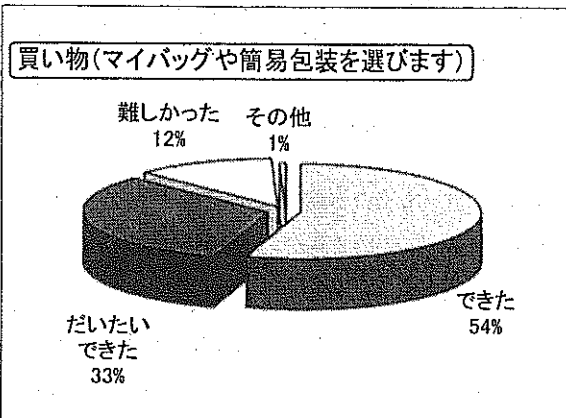
町会・自治会活性化キャンペーン第2弾



※その他・・・記入のなかったもの

調査回答数

世田谷地域	99
北沢地域	157
玉川地域	60
砧地域	61
烏山地域	66
合計	443



1ヶ月間の取り組みにより削減されたCO₂の量
約4,640Kg
約39,700本のスギの木が、1ヶ月で
吸収するCO₂の量に相当

砧地区

砧地区町会・自治会活動の昨今

砧地区町会・自治会連合会会長 栗本政弘

砧地区は世田谷区の南西部に位置し、緑が多く自然との触れ合いのできる地域であります。

仙川・野川・谷戸川の流れが国分寺崖線を有し湧水があり、そこには沢ガニも生息しております。

この地域は大木も多く、長年にわたって成長し、年輪を刻んだ姿を見ることが出来ます。

古くからの歴史もあり弁財天、地藏尊、庚申塚などが道すがら地域を見守っております。地域の中には、神社仏閣も数多くあり、季節ごとに人々が参拝し、花を捧げお供物を奉納するしきたりも残っており、人々の心の癒しにつながっています。

るものと考えます。

砧地区町会・自治会連合会は、「砧町会」「法人格砧町自治会」「石井戸会」「大蔵東部町会」「大蔵住宅自治会」「大蔵本村睦会」「岡本自治会」の7つの町会自治会から成り立っており、加入世帯数は概ね7200世帯であります。

それぞれの町会自治会は、各地域毎の特徴を活かし地域密着の活動を行っております。即ち防犯・防災の安心を指し、環境面の向上などとともに行政とのパイプ役も務め、住民本位の活動に貢献しております。また、盆踊りなど地域ごとのアイデアを盛り込んだイベントも数多く実施され、

住民間の良好なコミュニケーションに努力しております。各町会・自治会も旧来の単なる仲良しクラブ的な活動からイノベーション意識の高揚により、地域の活性化と住民の融和及び助け合いの精神を構築し、型にはまらない住みやすい明るいまちづくりに励んでおります。

砧地区には、町会・自治会連合会と共に「青少年地区委員会」「民生・児童委員協議会」など11の活動団体があり、通称「8団体」といわれ各分野での専門的な活動を行っており、地域住民の方々のために「明るい」「元気な」「住みやす

い」砧地区の実現に努力してまいります。その活動の一端に、緑と環境をテーマとした大蔵運動公園での「緑化まつり」があります。多くの方々に参加していただき、大変な賑わいとなります。たくさんの方々の模範店や、花や苗木のお店、餅つきなどの他に、ウルトラマンが来場し子ども達と触れ合い、エアロビクス体操のデモンストレーションが見られます。

防犯・防災コーナーや、警視庁騎馬隊も参加し、それは見事な初夏の祭りとなります。是非皆様のご来場をお待ち申し上げます。また、近年世田谷区の地域の絆再生事業に参加し、砧地区町会・自治会加入促進委員会を立ち上げ、検討

を重ねて加入促進のリーフレットを作成し地域内に配布しております。第二段階として、「LET, S加入町会自治会」とした関連行事などがわかるシール表を作成し各戸配布するほか、新規加入勧誘の際に使用するなど様々な場面で活用しております。今後とも絆再生事業に取り組み地域の活性化につなげていきたいと考



えております。
また、きぬた地区社会福祉協議会も発足2年を経過し、基礎固めもほぼ完了し、日常活動も活発的になり、

地域密着の施策を基に相互扶助の精神であたたかい福祉の実現に努力していく所存です。
今後とも砧地区は様々な

地道な文えあい

船橋会会長 鈴木幸夫

船橋会は小田急線千歳船橋駅北側から環状八号線までの船橋一丁目、三丁目全域、二丁目、四丁目、七丁目ををテリトリーとして、約2800世帯、42部(224組)で構成されています。近年、町会の守備範囲は拡大しており、これに対応するために昨年度、副会長を3名増員、総数11名とし主担当業務には積極的なリーダーシップをとるようお願いしています。38名で構成する女性部は強い参画意識があり、船橋会の進める事業に欠かせない存在です。常会は各部長の出席により毎月5日午後(1月

と8月を除く)まちづくり出張所で実施、30分間を町会費の集金タイムとして世田谷信金に協力してもらっています。役員会も常会当日午前中に実施、常会の議題、報告内容等を話し合っています。会場に船橋神明社の社務所を借用します。

○おまつりについて

新緑の六月「第5回船橋あおばまつり」を実施しました。会場の池田児童遊園と船橋地区会館には溢れるほどの参加者を迎え大盛況でした。確実に町会のまつりとして定着しました。商店街、地元農家など各協賛

課題に取り組み、改革・改善を行いながら進化した活動を進めてまいります。

団体に感謝しています。

年2回の商店街「ちとふなまつり」、船橋小の「ふなつこ夏まつり」や、神明社の秋季例大祭に役員女性部が参加しています。神社境内に町会防災倉庫を置かせてもらっており役員が

神社総代や世話人として係っています。

○避難所運営・防災訓練について

8月夏休み後半に町会と船橋小共催の避難所運営、防災訓練を実施しました。年々防災意識が高まり参加者は700名を超え、船橋中関係者も参加しました。同中学は数年前より夏休み消防署の協力により救命救命講習を行っておりテキスト代を船橋会が助成しています。今回は96名が受講しました。また、3年生十数名が民生委員と一緒に高齢者の安否確認訓練に参加、

災害混乱期において若いパワーとして期待できることを実証しました。

○学校との連携について

船橋小は今年度地域運営学校に指定されました。役員2名が運営委員会の委員長と委員を委嘱されています。住民が町会事業により学校を訪れる機会も増えており確実に地域と学校の交流は進んでいます。子ども安全パトロールにも多くの地域の方が参加しています。夏休みの10日間のラジオ体操を神社境内で行い、連日役員が世話役を担っています。地域風景資産「船橋の小径」の会有志は小学生対象「野草の勉強会」に講師として協力しています。今年3月、明るく清潔な船橋小多目的ホールを利用して幼児を抱える母親のためのミニコンサートを開きました。幼児を遊ばせながらの楽しいひとときに参加者にご満悦でした。今後も続けていきたい事業の一つです。



船橋あおばまつり



防災訓練

烏山地域

地域住民と歩む町会

烏山下町会会長 高橋和夫

町会って何だろう！

当町会（烏山下町会）は、南烏山一丁目（児ヶ谷会を除く）、二丁目31番～37番、三丁目、北烏山一丁目（千駄山町会を除く）の約4000世帯を有する、広大な地域町会である。

最近では高層マンションが建ち並び、地域に移住してくる方が増加し、町会人口は年々増える一方である。しかし、現状は町会加入率は50%にも満たない数で、何とか1世帯でも多くの方に、町会活動を理解し

て頂きたい加入促進に向けて本年より取り組んでおります。

その一つとして総務部を中心に、町会の活動・町会の運営、町会案内等を作成し、その都度町会への入会を促進し、町会加入勧

誘をしております。

災害時相互応援協定結ぶ
当町会では、災害時相互応援協定について、成城消防署より要請があり、内容を検討しました。まず災害時相互応援協定



とは、防災上の支援を要する方が、入所（入居）する社会福祉施設等と、その周辺地域の町会・自治会とが、災害発生時に連携して被害の軽減をはかるための申し合わせです。この度町会地域内にあるフロールレンスケア芦花公園と世田谷区立烏山福祉作業所の二つの施設の合意が整い、火災時相互応援申し合わせ書（第一条～第五条）を、平成20年10月に締結の運びとなりました。後日、区内成城消防署管轄の災害時等相互応援協定合同締結式が、平成20年10月29日に成城消防署において、11施設と7町会・自治会の間で取り交わされました。

今後は平素の予防・訓練等を通してこの協定を活かしていききたいと願っています。地区街づくりを
芦花公園駅周辺地区街づくりは、「開かずの踏切り解消」に向けた「京王線沿線駅周辺の連続立体化」の街づくりを進めるため、平成19年4月に烏山下町会・児ヶ谷会・千駄山町会・芦花公園団地自治会・芦花公園商店街振興組合の代表者からなる「街づくり勉強会」を発足しました。



街歩きの様子

勉強会では、下高井戸や明大前の協議会の代表者との意見交換や、街の状況や問題について7回の学習を進めてきました。

平成20年4月からは「街づくり懇談会」として、街づくり協議会への準備を進めています。

現在は、区の街づくり専門家の派遣制度を活用し、専門家のアドバイスを受けながら、街の課題を探る「街歩き」を行い、街の魅力や改善点を確認したり、駅周辺の路上喫煙禁止への取組を進めています。

「京王線沿線の連続立体化」の街づくりへの取組は、まだ2年目ですが毎月1回のペースで活動しています。今後は、京王線各駅の協議会、懇談会の方々にも意見を聞きながら、街づくりを進めて行く方針です。

世田谷地域

若林町会の活動報告

若林町会会長 根岸 茂

若林町会は若林全域「一丁目〜五丁目」が一つの町会になっており世帯数約1万、人口約1万7000、その内町会加入世帯は約4

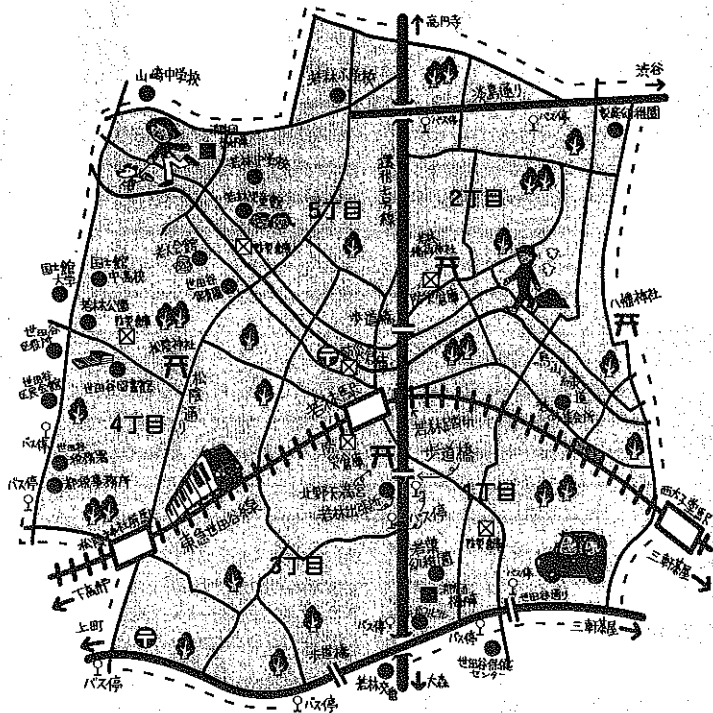
600と大変大きな町会となっております。

若林も時の移り変りと共に町並みも変化をしており、環状七号線を挟んで東側を

一・二丁目、西側を三〜五丁目と分断されております。

町会活動も大きな行事は町内一体となって活動が出る一つの利点があり、ま

わかばやし散歩マップ



各施設の電話番号

●若林小学校	☎3413-0654	●若林出張所	☎3413-1341	●保健センター	☎3410-9101
●若林中学校	☎3413-2977	●世田谷税務署	☎3421-5121	●世田谷警察署	☎3418-0110
●国士館中学・高校	☎5481-3131	●世田谷都税事務所	☎3413-7111	●世田谷消防署	☎3412-0119
●国士館大学	☎3422-5431	●世田谷保健所	☎3413-7111	●世田谷消防団本部	☎3412-0119
●若林児童館	☎3412-6413	●若林三郵便局	☎3422-9595	●世田谷清掃事務所	☎3425-3111
●世田谷保育園	☎3414-5065	●若林四郵便局	☎3422-9833	●世田谷郵便局	☎3418-5686
●世田谷若葉幼稚園	☎3421-6078	●老人会館	☎3419-2341	●世田谷区土木事務所	☎3424-2790
●家庭幼稚園	☎3411-2312	●世田谷区民会館	☎3414-6800	●世田谷社会保険事務所	☎3429-0111
●若林稲荷神社社務所	☎3412-2932	●若林区民会館	☎3414-7154	●水道局世田谷東営業所	☎3424-2111
●松橋神社社務所	☎3421-4834	●世田谷図書館	☎3419-1911	●東京電力世田谷営業所	☎3425-2111
●世田谷区役所	☎5432-1111	●警視庁世田谷少年センター	☎3419-0019	●東京ガス世田谷営業所	☎3426-1111

発行●若林町会 連絡先●〒154-0023 東京都世田谷区若林1-18-23 ☎03(3421)9305 2002年9月発行

た各地区の活動として、各丁目ネットワークを設けられぞれの地区で考案を出しながら活動を続けております。

又若林にある諸団体、身近なまちづくり推進協議会、若林地区社会福祉協議会、民生児童委員、日赤奉仕団、各小中学校及びPTAの方々と連携を取りながら諸事業に取り組んでおります。

若林町会の主な行事

◎夏祭り盆踊り大会

7月の後半の土・日曜日を利用して2日間実施する。参加人数も2日間延べ250013000人と大変賑やかな会となっております。

◎若林神社の氏子祭礼

宵宮・本祭と2日間、9月の第2土・日曜に開催し実行委員会を立ち上げ、神輿、演芸、夜店等の担当を決めて実行する。

◎敬老会

若林町内居住の75歳以上の高齢者の方を対象として希望者を募り開催す

る。小学校の体育館を会場とし、内容は、式典に続いてアトラクションでくつろいでもらい、この時には、小中学校生及びPTAの人達も参加しています。

平成20年度は10月19日に実施、600人が参加し盛大な会になりました。

◎ラジオ体操

会場は2ヶ所で、環7の東側一・二丁目では神社境内、西側三・五丁目は若林公園でPTA、地区社協の協力を得て、夏休み後半の10日間開催し、参加人数も老若男女合わせて延べ700人位でしたが、昨年は雨が多く参加者もやや少なめでした。

◎歳末特別警戒

12月26日～30日までの5日間、各地区で実施。防犯・火災予防を呼びかけ、警戒活動をしました。

各部活動の紹介

組織は、総務・財務・文

化・厚生・環境保健・防犯

防犯・交通の各部と、広報委員会、各丁目ネットワークが設置され、それぞれの分野で活動しております。

◎文化部

前述の祭礼の演芸等を担当し、祭り全体の状況を把握する。

童謡教室11月1回開催し、昔懐かしい童謡をピアノ演奏に合わせて合唱する。

◎厚生部

招魂慰霊祭の実施
若林子ども祭り11若林に居住する、幼児・小学生が対象だが、近隣の子ども達も参加している。

ラジオ体操II(前述)

敬老会II(前述)

◎環境保健部

町会行事のごみ清掃、リサイクルに取り組んでいる。ごみ0デー、健康講習会の開催

◎防犯部

毎週土曜日、町内2班に分かれパトロールを実

施。警察の協力により、防犯講習会を実施している。

◎防災部

地区防災訓練には、小中学生の参加も促し実施している。その他防災講習会、防災研修会を実施。

◎交通部

春秋交通安全運動、各事業活動の交通整理又、学校児童館、維新祭り等の交通整理を実施

◎広報委員会

年2回の広報誌の発行、ホームページを作成し、町会活動を披露している。

若林の歴史を顧みて、

昔の写真展を開催している。

◎各丁目ネットワーク

毎月1回、各所で情報交換。一・二丁目は若林集会所、三丁目は若林区民フロア、四・五丁目は老人会館。

主な活動

一丁目11防災タウンウォッチング、街かど防災訓練、そば打実演会、三茶小、共和会の防災訓練に参加。
二丁目11防犯パトロール、D型ポンプ操作法講習会、太子堂小サバイバルキャンプ参加、懐か

しの映画会『隔月』
三丁目11防犯パトロール
防災訓練

四丁目11消費生活センター講習会、防災訓練の実施。
五丁目11D型ポンプ講習、
防災訓練。

以上各丁目ネットワーク活動の主な取組ですが、ネットワーク活動をより拡充推進して、住民相互の災害時の助け合いや、コミュニケーションを深め、街の発展とふれ合いの充実をはかり今後の活動をより一層活発にしていきたいと考えております。

北沢地域

安全・安心のまなびを目標として

代沢五丁目町会会長 中條郁代

◎住居表示の変更

代沢五丁目町会は、昭和39年、住居表示が変更

になり、北沢川の北側が北沢一丁目から代沢五丁目になり、旧北沢一丁目町会の区域は、鎌倉通

りの東側、北沢川の北側、茶沢通り沿いの1284世帯からなり、鎌倉通り側は住宅街、茶沢通り沿いは商店街です。この区域は、昔の世田谷町大字下北沢字西山谷で、その頃代沢小学校の北西の角は三叉路になっていました。

◎町会の活動と地域行事

代沢五丁目町会は安全・安心の町づくりを目的に1年の事業計画をたてて活動しています。また町内商店街の代沢通り共栄会・北沢八幡神社の祭礼に参加する代沢五丁目陸会・高齢者の代五クラブの行事にも協力しています。

「町会の活動」

防犯部：北沢署からの被害発生情報の周知を図るとともに、役員によるパトロール（不定時）をし、区域内の状況の把握に努めています。また、北沢川緑道の橋場橋から鎌倉

橋間の除草を行い、周辺の見通しがよくなりました。最近、町内の空巣や引ったくりの犯罪発生件数がいくらか少なくなりました。

交通安全部：春・秋の全国交通安全運動の期間中、代沢三叉路にテントを設置し登校する児童や通行人に交通安全をPRしています。

防災部：災害発生に備え、町会会館に緊急食料・器材を備えつけて、救済応動体制の整備を進めています。代沢地区7町会の合同防災訓練、避難所運営訓練にも参加しています。

環境部：北沢川緑道の清掃除草を行い、ごみの出し方などを見まわり、周辺美化に努めています。

福祉部：敬老の日に高齢者の方々に役員が表敬訪問、記念品を贈り、敬老意識の高揚に努めています。総務部（広報）：行事計画や区からのお知らせなど、

11グループ（70班）に回覧して周知を徹底するため、月2回の定時配布をしています。

「地域行事への参加」

春Ⅱ世田谷百景に指定されている「代沢さくら祭り」が賑やかに行われますが、その整備や清掃に協力しています。

桜並木は、区画整理記念に昭和初期植樹したといわれており80年が経過しています。せせらぎが整備された時に植え替えられた若木が目立つようになりまし。戦後、燃料不足で伐採して燃料にしようとの話がありましたが、町民が反対し、そのおかげで毎年きれいなお花見ができます。

夏Ⅱ代沢通り共栄会が32年続いている「子ども縁日」を代沢郵便局前通りで開催しています。トウモロコシ、やきそばなどの模擬店を出し、大勢の人出で賑やかに盛り上がりま

す。また代五クラブの子ども輪投げやバザーにも町会でお手伝いし、皆さんに楽しい一日を過ごして頂いてお

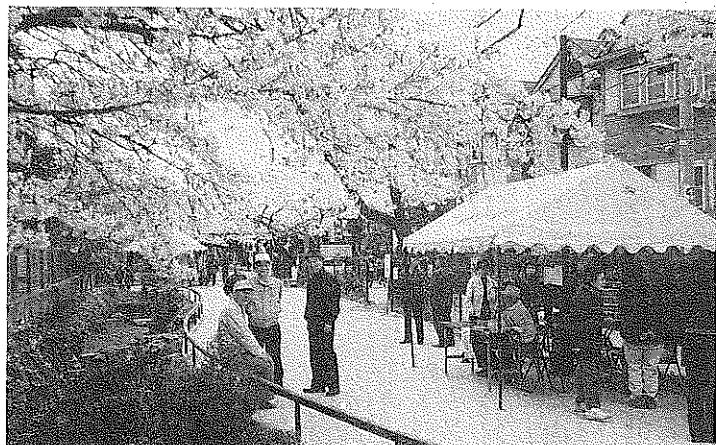
秋Ⅱ九月第一土

・日の北沢八幡神社の祭礼には、各睦会の御神輿の宮入りが茶沢通りの交通を一時規制し、盛大に行われま

した。町会は規制に合わせ周辺の家内を代五睦会に協力して行っており、役員は子ども神輿・太鼓に同行し、子どもたちへのお土産の配布やお神酒所の業務を分担しています。

「わが町の代沢小学校」

町内にある代沢小学校は安政年間の寺子屋が始まり



桜まつり

で、明治13年代沢尋常小学校という名前の寺子屋式の学校が開校しました。そして昭和2年、代沢尋常小学校として開校しました。校長室にある「代沢学校」の額は山岡鉄舟先生が書かれたものです。

運動会には町会対抗の玉入れに参加して、児童の応援を受けて楽しい時を過ごします。

玉川地域

地域力を向上し快適な町づくり

玉川中町会会長 木村 邦夫

私たちが組織する玉川中町会は、商店街や金融会社は無いが警察署と消防署のある住宅街です。

ここ数年目立つ世代交代に伴う、住宅環境の変化で以前、一軒であった所に4〜5軒建つていたり集合住宅も急増している。

町会加入率は下降気味で町会への関心度も低下している。一方町会や地域ボランティアに関心のある人は熱意を持って活動し支えてくれています。この二極分化がこれからも進むことが心配されます。

このような現状を踏まえ、より町会活動を知って貰うために、広報特集号を作成し町内の全世帯、約4300世帯に役員全員でポスティングを行いました。結果としてはある程度の効果

があったと思います。

◎学校関係の方々に感謝

夏休み子どもまつりや町会運動会は町内にある、玉川小学校、中町小学校・玉川中学校のPTA役員や児童、生徒さんと一緒に企画から実施までお手伝いしてもらっています。小学生のお子さんが手伝ってくれた、ゲームコーナーや中学校の生徒会の担当した模擬店は特に人気がありました。又、町内美化活動は隔月実施していますが、

今年度は地域の絆再生事業の補助金をいただき、小学生に環境美化をテーマとした絵を描いてもらい町内に掲示しました。広報用には絵の縮小版を入れたティッシュを作成し、

敬老会など各事業の行事などで配布、また10月には生徒さんと保護者に参加してもらい町内清掃を行いながらティッシュを配りましたが、ポスターともども好評でした。これらのことは今後も継続していきたいと考えています。

◎地域住民が安心して住めるまちづくり

毎週第一金曜日に役員全体で徒歩によるパトロールを実施、以前から実施していた、部員の車によるパトロールも、平成20年9月より警視総監の認可を受けた、青色回転灯を装備した、防犯部員の家用車8台が毎月4〜5回ほどのパトロールを行っています。10月

の世田谷犯罪ゼロの日は午前・午後・深夜に巡回し、当日も被害はありませんでした。

防火防災については、災害救助工具を町会で購入し会員の協力を得、現在15ヶ所に設置することが出来ました。防火防災訓練は一時集合同所や5〜6ヶ所

で行う町かど訓練では消防署と消防団の指導のもと初期消火訓練と災害救助工具を使った訓練を行いました。また世田谷区災害対策課発行の災害時区分行動マニュアルの「我が家の災害対策とマップ」を会員

の世田谷犯罪ゼロの日は午前・午後・深夜に巡回し、当日も被害はありませんでした。防火防災については、災害救助工具を町会で購入し会員の協力を得、現在15ヶ所に設置することが出来ました。防火防災訓練は一時集合同所や5〜6ヶ所で行う町かど訓練では消防署と消防団の指導のもと初期消火訓練と災害救助工具を使った訓練を行いました。また世田谷区災害対策課発行の災害時区分行動マニュアルの「我が家の災害対策とマップ」を会員



「我が家の災害対策とマップ」を会員

行政情報報

新型インフルエンザ

「ご存知ですか?」

世田谷保健所感染症対策課

毎年冬を中心に流行するインフルエンザは皆さんよくご存知だと思います。しかし、このインフルエンザウイルスには多くの種類があり、人の中で流行するのはその中の一部なのです。他のタイプのインフルエンザウイルスは、人以外の動物、特に水鳥を中心とした鳥類に感染しています。そして鳥類に感染して症状が出た場合、それを鳥インフルエンザといえます。

新型インフルエンザとは、従来は人に感染することがなかった鳥インフルエンザウイルスが人に感染し、人から人へと効率よく感染できるようになったウイルスによる疾患を指します。人から人へ感染する新型

インフルエンザの世界的流行は10年から40年程度の周期で起こるとされていますが、この数十年間は発生がありません。そのため近い将来に新型インフルエンザの世界的流行の可能性が示唆されています。

新型インフルエンザが発生した場合、基本的にすべの人が、そのウイルスに対して抵抗力(免疫)を持っていません。そのため、新型インフルエンザが発生した場合、短期間で世界的流行が起こると考えられています。感染した場合の症状は通常のインフルエンザよりも重くなる懸念が懸念されていますが、その程度は現在のところ予測が困難です。新型インフルエンザが発

生した場合、通常のインフルエンザと同様に、外出後の手洗い、マスクの着用、不要不急の外出や集会を避けることなど、感染予防対策に努めることが重要です。また、他人にうつさないために、感染して症状のある人はできる限り自宅で療養したり、咳やくしゃみをする際はティッシュで口元を覆うか、マスクを着用することも重要です(咳エチケット)。さらに流行時には物資の流通が停滞することとを想定して、普段から食料品や日用品を備蓄しておくことが望ましいと考えられます。

区では、新型インフルエンザの出現に備え、国や都の対策を踏まえた上で、行動計画の改定、マニュアルの策定、訓練の実施などを予定しており、今後も新しい知見に基づいて対策を進めていきます。また、保健所から区民の皆様へ新型インフルエンザの情報を適宜提供していきます。

皆様の一層のご理解をお願い申し上げます。

◎町会・自治会長交替のお知らせ

平成21年1月9日現在

町会・自治会名	新会長	前会長
下馬六丁目町会	國分純一	小崎善弘
馬事公苑前ハイム管理組合	山崎裕川	崎洋介

町総連ニュース

全国自治会町会連合会表彰

▼平成20年10月2日

全国自治会連合会札幌大会において、倉本俊幸町総連会長(粕谷会会長)が全国自治会連合会表彰を受けました。

東京都知事功労者表彰

▼平成20年10月1日

東京都庁において、額賀一哲町総連副会長(希望ヶ丘団地自治会会長)が東京都功労者表彰を受けました。

社会福祉功労者厚生大臣表彰

▼平成20年11月7日

全国社会福祉大会(日

比谷公会堂)において、長島清一町総連常任理事(八幡山町会会長)が社会福祉功労者厚生大臣表彰を受けました。

編集後記

町会・自治会の役割は、自分たちの住む「まち」を安全で安心して住み続けられる「まち」にすることです。今回の記事で、それぞれの町会が、いかに幅広く活動を行っているか再認識させられたと思います。今後も、「町総連だより」を通して町会・自治会が取り組んでいる活動を紹介させていただきますながら、町会・自治会発展のご助力になればと願っております。

編集委員長 鈴木 誠